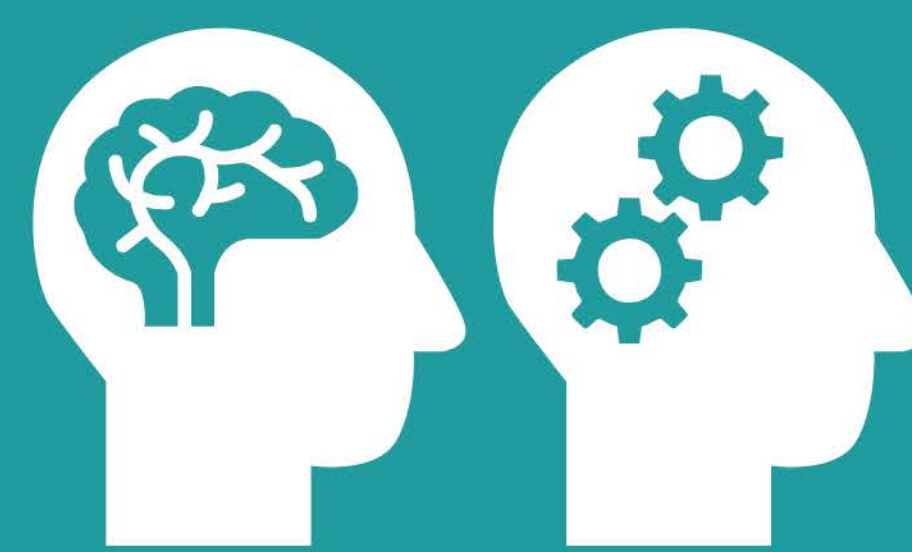


職場で活かそう！ 多様な脳・神経



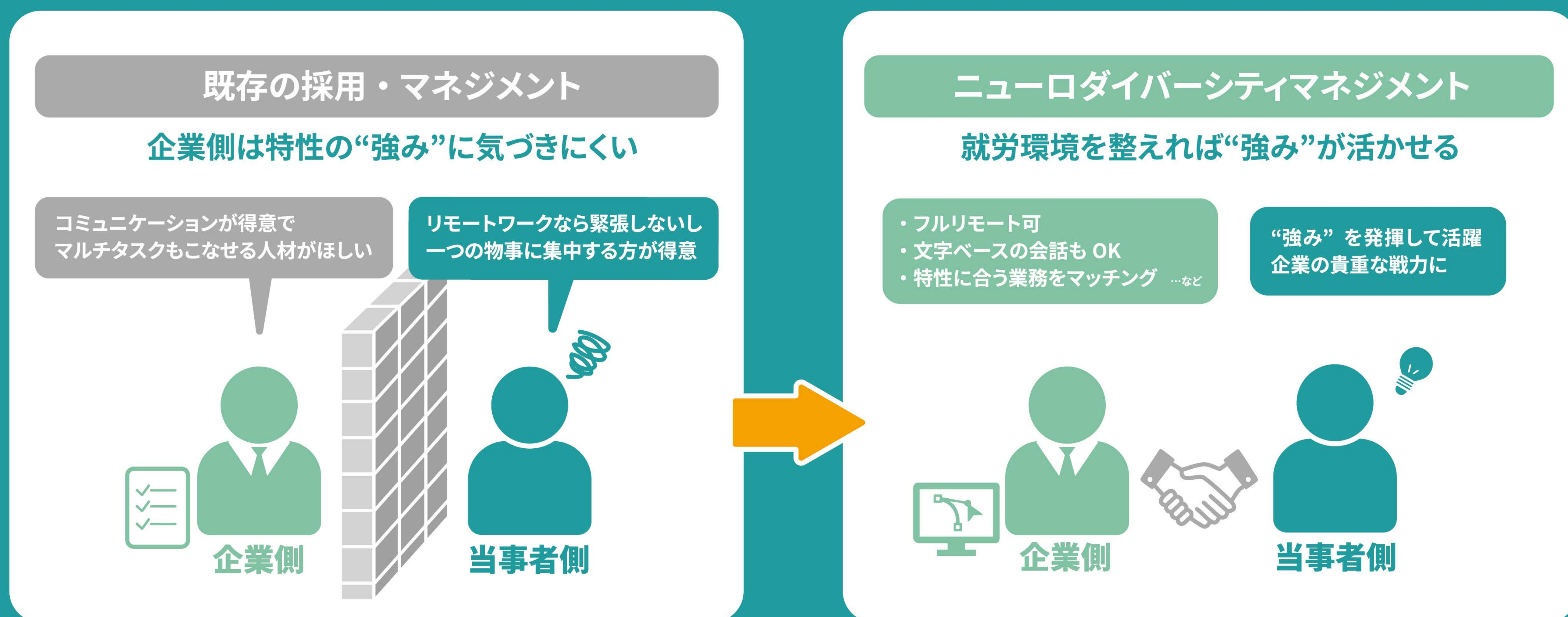
「ニューロダイバーシティ(神経多様性)」という言葉をご存じですか？

私たちの脳・神経には多様な発達特性があり、それを社会で活かそうという考え方です。

例えば発達障害のひとつ、自閉スペクトラム症(ASD)では、「高い集中力」「論理的思考力」という“強み”を発達特性に持つ傾向があります。ただ「コミュニケーション」「チーム作業」などが苦手な特性も見られる場合があります。

日本で発達障害のある人の割合は、10人に1人と言われていますが、就労機会は十分ではありません。採用面接や職場では苦手が注目され、“強み”の芽が摘まれているのではないかと。私たちは発達障害のある人の“強み”が活かせる就労機会を創ることを目指して、現在は民間企業10社と連携し、採用・マネジメント手法の研究を進めています。着目したのは、海外で積極的に雇用の動きが広がる「デジタル領域」です。

就労環境が整えば、最終的には障害の有無に関わらず一人ひとりが“強み”を発揮できる。それが、私たちのありたい未来です。



「IT 業務体験プログラム」を企画 “一歩”を踏み出す

まずは企業側と当事者側の「壁」を取り払い、相互の理解が深まる場を創りたい。私たちは今年8月、研究会に参画するIT・金融企業6社と共に5日間の「IT 業務体験プログラム」を企画。発達障害やその傾向がある学生を中心に、20名が参加しました。今回は採用には直結しない体験でしたが、今後は具体的な採用に向けた環境整備を、企業側と進めていきます。

